

土木工事特記仕様書				
工事概要				
工事名称	鈴鹿工業高専アニバーサリーガーデン築造工事			
工事場所	三重県鈴鹿市白子町（鈴鹿工業高等専門学校構内）			
完成期限	令和7年1月24日（金曜日）			
工事内容	名称	摘要	数量	単位
	ソーラーライト	非常電源付 RC基礎 800×800×H1000以上 φ1500	1	か所
	ツリーサークル（割栗石）設置		2	か所
	パーゴラ	H2500 3500×3500	1	か所
	縁台	H400 1500×1500	1	か所
	足元灯	夜間自動点灯	12	個
	土留め	掘木 H600	5	m
	人工芝張り	下地防草シート張り	223	m <sup>2</sup>
	根切り・すきとり	高さ調整及びひが打設下地調整	1	式
	岩撤去	図面番号：C-2参照	4	個
	岩復旧	1. 岩	1	個
	樹木伐採・抜根	サツキ・キンコメシ等	1	式
一般特記事項				
総則	1. この工事の受注者は、独立行政法人国立高等専門学校機構が定める工事請負契約基準、現場説明書、特記仕様書1枚、図面3枚、文部科学省土木工事標準仕様書（令和4年版）、工事数量表、文部科学省土木工事施工管理要領及び工事写真撮影要領に基づき工事を施工する。			
	2. 特記仕様書の適用方法 (1) 表中の数字、文字又は記号を記入する事項は、記入してある事項のみ適用する。 (2) 特記された材料、製造所、製品名、施工業者等の取扱い、特記されたもの又は同等以上のものとする。ただし、同等以上のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 (3) 左欄の( ), ( ( ) ), < , > , << , >> 内の数値は、下記の各該当番号を示す。  ( ) : 文部科学省土木工事標準仕様書（令和4年版）			
1章 一般共通事項				
(1.3.3) 電気保安技術者	この工事現場に下記いずれかの資格を有する電気保安技術者を選任する。			
	項目名	電気保安技術者		
	1 第3種電気主任技術者以上の資格を有する者			○
	2 1級電気工事施工管理技士の資格を有する者			○
	3 第1種電気工事士の資格を有する者			○
	4 高等学校又はこれらと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者			○
	5 旧電気工事技術者検定期則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者			○
	6 公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者			○
	7 2級電気工事施工管理技士の資格を有する者			○
	8 第2種電気工事士（旧電気工事士）の資格を有する者			○
	9 短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学（実験を含む）に関する科目を修めて卒業した者			○
(1.3.4) 工用電力設備の保安責任者	この工事現場には、下記の資格を有する工用電力設備の保安責任者を選任する。			
(1.3.5) 施工条件	この工事現場では、次の施工条件による。			
(1.3.10) 施工中の環境保全等	本工事において、低騒音型・低振動型建設機械、排出ガス対策型建設機械及びディーゼル車排出ガス規制に該当した車両を適用する。			
(1.3.11) 発生材の処理等	引渡しを要するもの 1)品名( ) 2)引き渡し先( ) 3)集積場所(構内発生材置場)  特別管理産業廃棄物 1)品名( ) 2)処理方法( )			

低騒音型・低振動型建設機械の使用	排出ガス対策型建設機械	ディーゼル車排出ガス規制に適合した車両	材料の品質等	技能士	(1.5.4) 一工程の施工の確認及び報告
------------------	-------------	---------------------	--------	-----	-----------------------

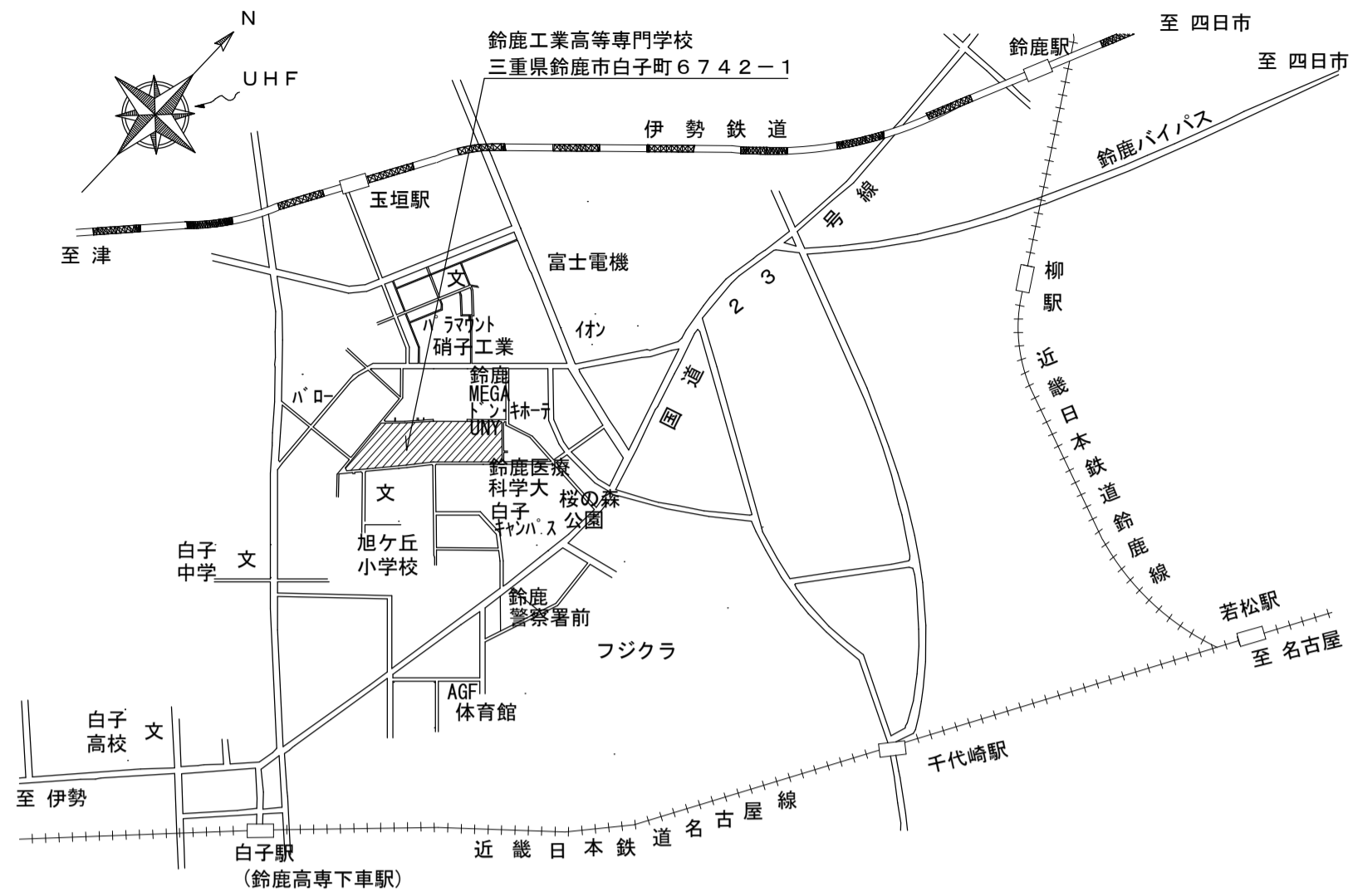
現場において再利用を図るもの 1)品名( 1. 岩 ) 2)使用方法(改修後の位置に移設)	再資源化を図るもの 1)品名( ) 2)受入方法( ) 3)搬出に先立ち搬出計画書を作成し、監督職員に提出する。 4)日々の搬出量等を取りまとめた土砂等搬出調査を作成し監督職員に提出する。 5)工事発注後に明らかになった事情により難い場合は、監督職員と協議する。	再資源化を図るもの 1)品名( ) 2)受入方法( ) 3)搬出に先立ち搬出計画書を作成し、監督職員に提出する。 4)日々の搬出量等を取りまとめた土砂等搬出調査を作成し監督職員に提出する。 5)工事発注後に明らかになった事情により難い場合は、監督職員と協議する。	関係法令に従い適切に処理するもの 1)品名(発生土・石) 2)受入方法(地方自治体等の許可処分場とする。) 3)搬出に先立ち搬出計画書を作成し、監督職員に提出する。 4)日々の搬出量等を取りまとめた土砂等搬出調査を作成し監督職員に提出する。 5)工事発注後に明らかになった事情により、上記の指定に取りがたい場合は、監督職員と協議する。	本工事においては「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」（平成9年7月31日建設省告示第1536号 最終改正 平成13年4月9日 国土交通省告示第487号）に基づき国土交通大臣が型式指定を行った低騒音型・低振動型建設機械を使用するものとする。ただしこれにより難い場合は、監督職員と協議の上、必要書類を提出するものとする。 低騒音型建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。  本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律」（平成17年法律第51号）に基づく技術基準に適合する機械、または、「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成3年10月8日付け建設省経機発第249号）、「排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規程（平成18年3月17日付け国土交通省告示第348号）もしくは「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領」（平成18年3月17日付け国総施第215号）に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、もしくは建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着することで、排出ガス対策型機械と同等とみなす。ただし、これにより難い場合は、監督職員と協議するものとする。 排出ガス対策型建設機械、又は排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は、施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。	機 種	摘 要
					ブルドーザ	ディーゼルエンジン（エンジン出力8kw以上、560kw以下）
					バックホウ	ディーゼルエンジン（エンジン出力8kw以上、560kw以下）
					ホイールローダ	ディーゼルエンジン（エンジン出力8kw以上、560kw以下）
					ホイールクレーン（ラフテレーンクレーン）	ディーゼルエンジン（エンジン出力8kw以上、560kw以下）
					ローラ類（ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ）	ディーゼルエンジン（エンジン出力8kw以上、560kw以下）
					油圧ユニット（基礎工事用機械で独立したもの）	ディーゼルエンジン（エンジン出力8kw以上、560kw以下）
					空気圧給機（可搬式）	ディーゼルエンジン（エンジン出力8kw以上、560kw以下）
					発動電動機（可搬式、溶接兼用機を含む）	ディーゼルエンジン（エンジン出力8kw以上、560kw以下）
					① 受注者は本工事現場で使用し、又は使用される関係車両（以下「本工事関係車両」という）が、当該工事場所のディーゼル車排出ガス規制条例（以下「排出ガス規制条例」という。）の適用を受ける場合は、これに適合した車両を使用しなければならない。	
					② 受注者は、本工事の施工に先立ち、本工事関係車両の「ディーゼル車排出ガス規制に適合する車両の使用」について、排出ガス規制条例の遵守を施工計画書に記載しなければならない。	
					③ 受注者は、本工事関係車両にディーゼル車を使用する場合には、車検証のコピーを保管し、本工事関係車両を把握しなければならない。	
					④ 受注者は、取締りにより本工事関係車両に違法行為等があった場合には、直ちに監督職員に報告しなければならない。	
					⑤ 受注者は、資機材の搬出入等において、資材納入業者に排出ガス規制条例を遵守させるものとする。	
					再利用を図るものは、次による。 岩 1個（C-2の図面のとおり）	
					下記の工種を施工する場合には、次の資格を有する技能士を選任する。	
					工 種	技能検定の職種
					4章 土工	伐除根の完了、段切りの完了 切土整形の完了 盛土締固め整形の完了

(1.7.1) 完成時の提出書類	完成図	完成図の種類及び記入内容は次による。	種類	記入内容
(1.7.2) 完成図	完成図	完成図の種類及び記入内容は次による。	完成図	発注図面に決定・変更内容を朱書記入・訂正したものと及びCADデータ。 CADデータのメディア（提出媒体）については、監督職員との協議による。
	施工図	監督職員の指示による。	施工図	監督職員の指示による。
		完成図の様式等は次による。 作成方法 監督職員の指示による。 原因サイズ A3判（二つ折り製本） 提出部数 2部		
		工事写真帳は（○紙媒体 ○電子媒体）で 1部提出する。		
		完成写真はキャビネ版とし表紙に工事名称等の文字を記載する。 なお、完成写真には撮影方向等を明示した配置図、平面図を添付する。		
		貸与する設計図のCADデータ著作権者名： 鈴鹿工業高等専門学校総務課施設係 ファイル形式：JWW 貸与条件：貸与するCADデータを本工事における施工図又は完成図の作成のため以外に使用しないこと。		
		提出方法： A4サイズファイルにて提出する。		
(1.7.3) 保全に関する資料	保全に関する資料として次のものを提出する。 ○ 工作物等の保守に関する説明書（1部）			

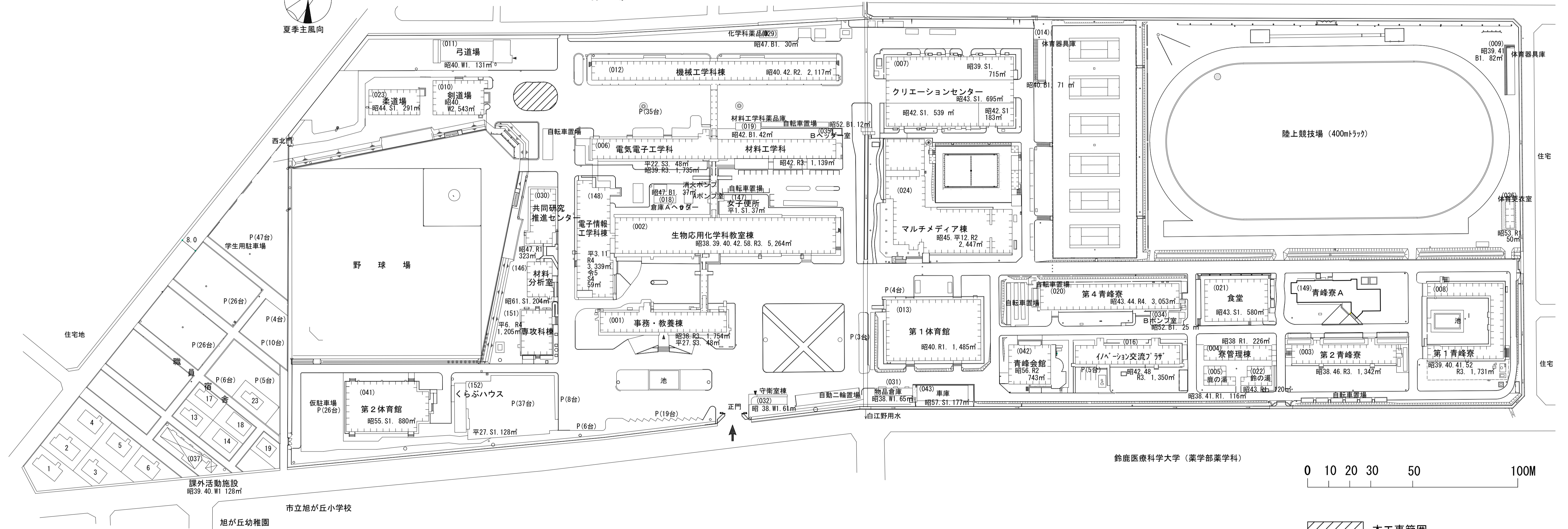
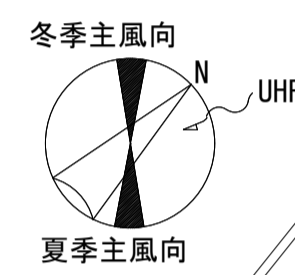
2章 材料			
(2.2.1) 盛土・埋戻土	本工事に使用する土は、次による。	材料名	規格・寸法等
		発生土	良質土
			法面土工
			40mm以上の石を取除いた土
(2.3.7) 基礎材料等	本工事に使用する基礎材料等は、次による。	材料名	規格・寸法等
			使用工種
			備考
(2.16.5) 合成樹脂製品	本工事に使用する合成樹脂製品は、次による。	材料名	規格・寸法等
		パーゴラ	ルーバー
		縁台	合成木材
		土留め	プラスチック製掘木
			90×45
			パーゴラ工
			廃木粉とリサイクル材の混合成形材
			廃木粉とリサイクル材の混合成形材
3章 仮設工			
(3.1.2) 施工一般	(1) 造園工の施工に伴う仮設は、受注者が施工に先立ち現地の状況を十分に把握し、安全性、社会性、経済性等について十分な検討を行い、受注者の責任において決定し施工する。		
4章 土工			
(4.1.4) 土及び岩の分類	現状の土質は、下記による。	工 種	土 質
		切土工・植土工	埋土
(4.1.7) 採取場及び建設発生土の受入れ地等	本工事で発生する土の処理は、1.3.11 発生材の処理等による。		
8章 修景・遊具・管理施設			

年度	設計年月	工事名称	図面名称	縮尺	図面番号
令和6	令和6年9月	鈴鹿工業高専アニバーサリーガーデン築造工事	特記仕様書-1	N, S	特-1

独立行政法人 国立高等専門学校機構 鈴鹿工業高等専門学校				図面番号	
事務部長	総務課長	係長	担当		
				特-1	

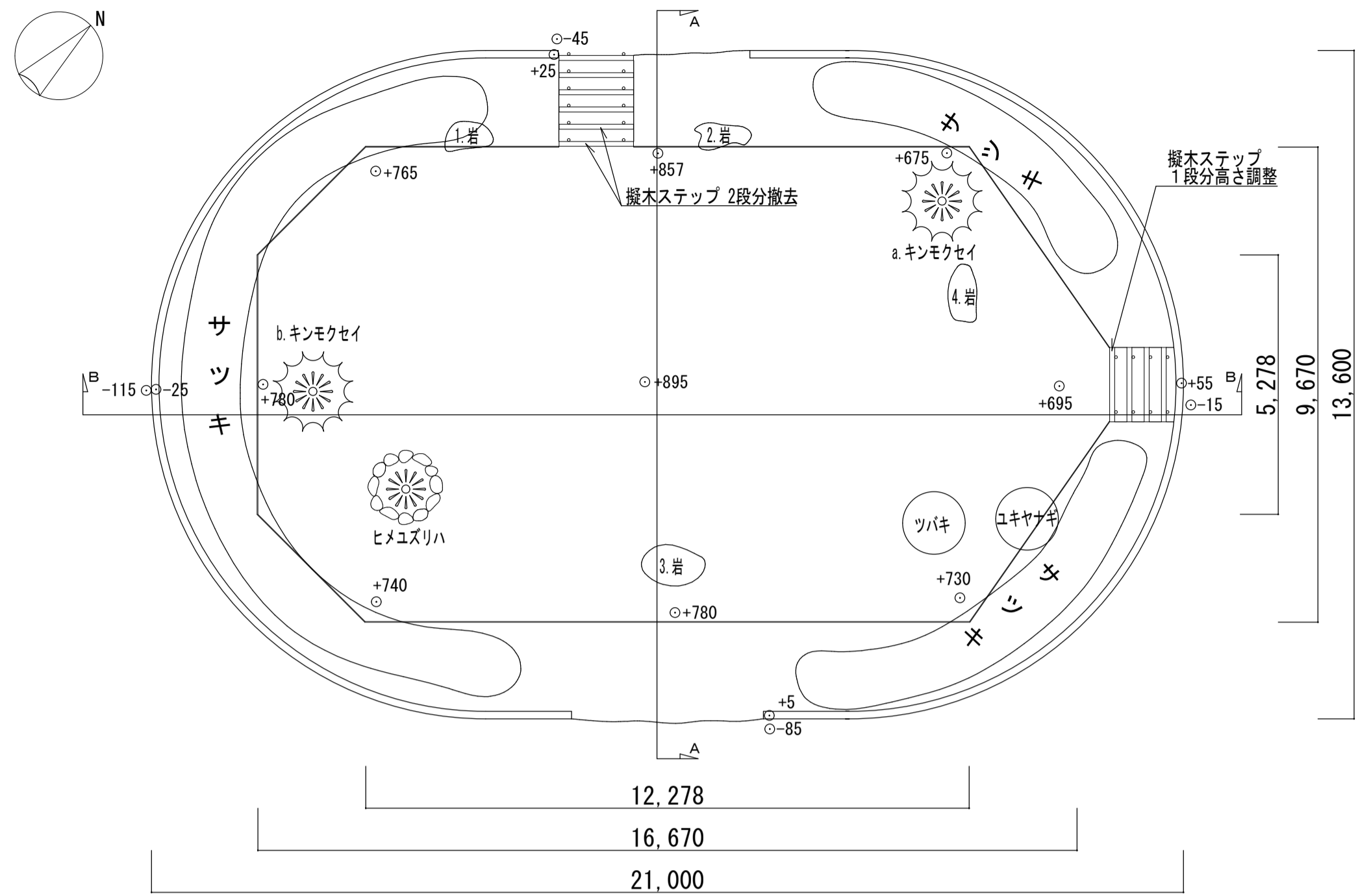


案内図 NOSCALE

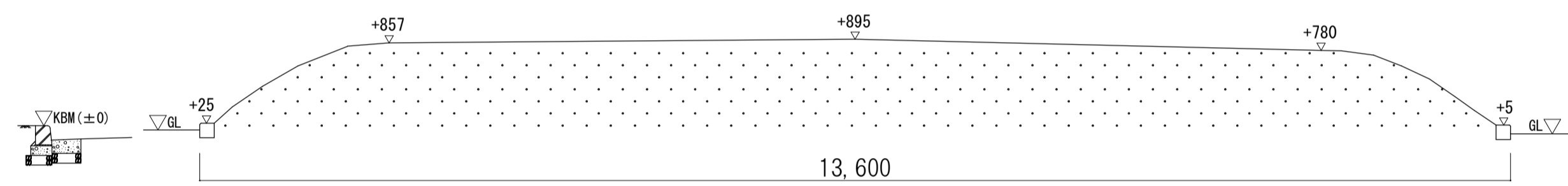


配置図 S=1/1000

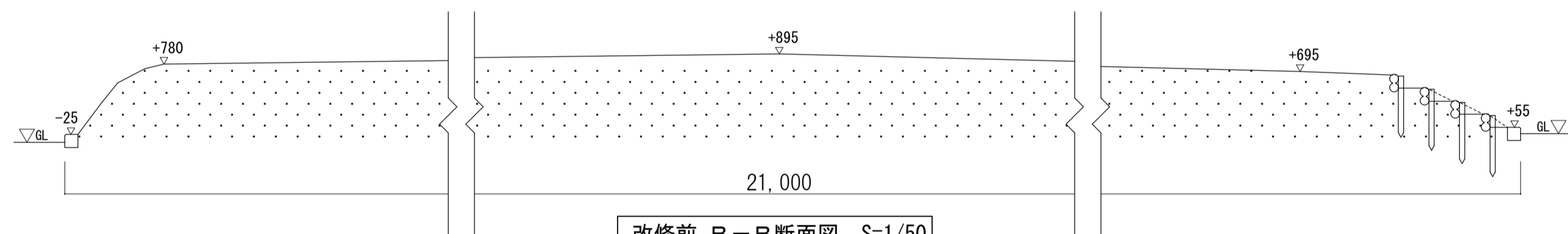
年度	設計年月	工事名称	図面名称	縮尺	独立行政法人 国立高等専門学校機構 鈴鹿工業高等専門学校	図面番号
令和6	令和6年9月	鈴鹿工業高専アニバーサリーガーデン建造工事	案内・構内配置図	A1: 1/1000 A3: 1/2000	事務部長 総務課長 係長 担当	C-1



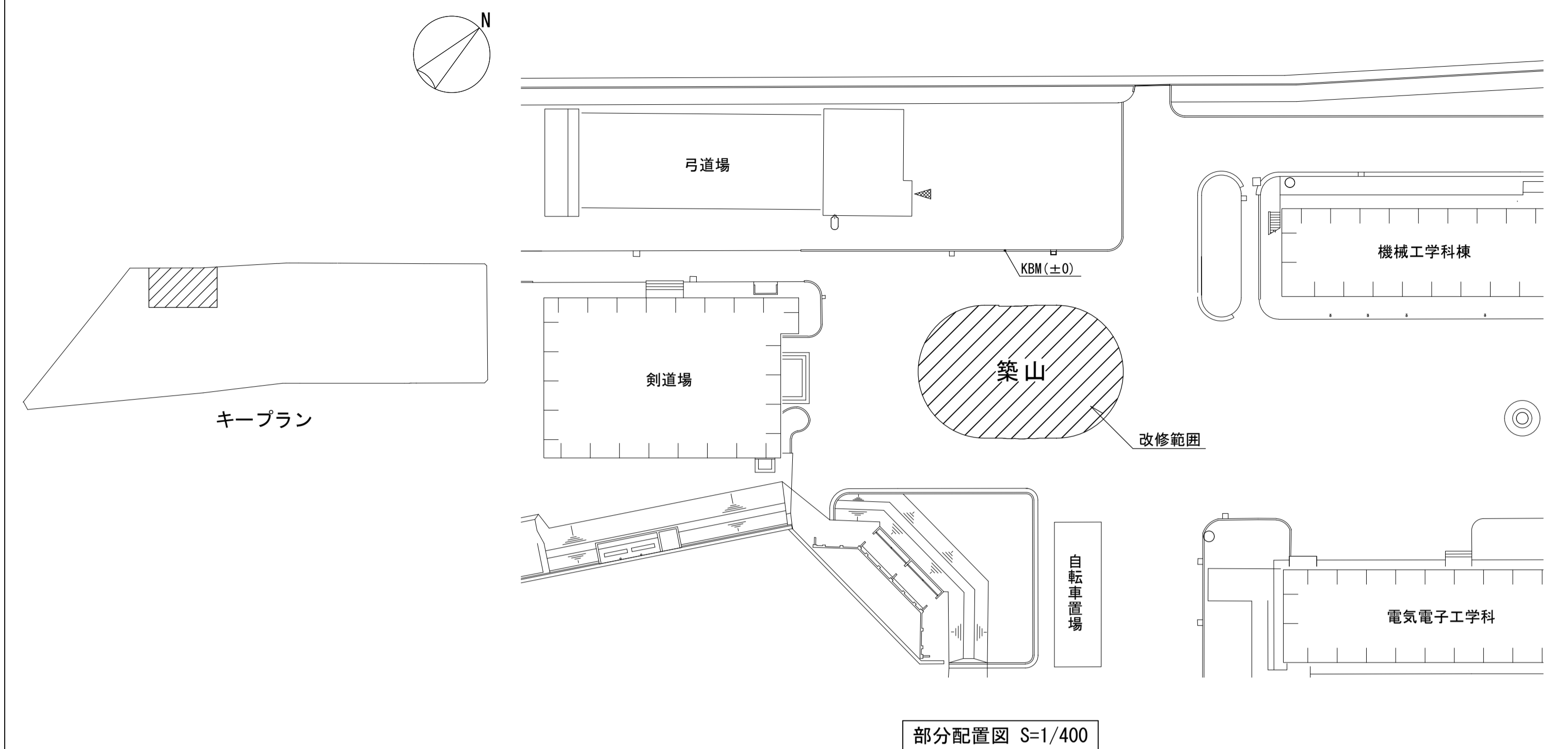
改修前築山平面図 S=1/100



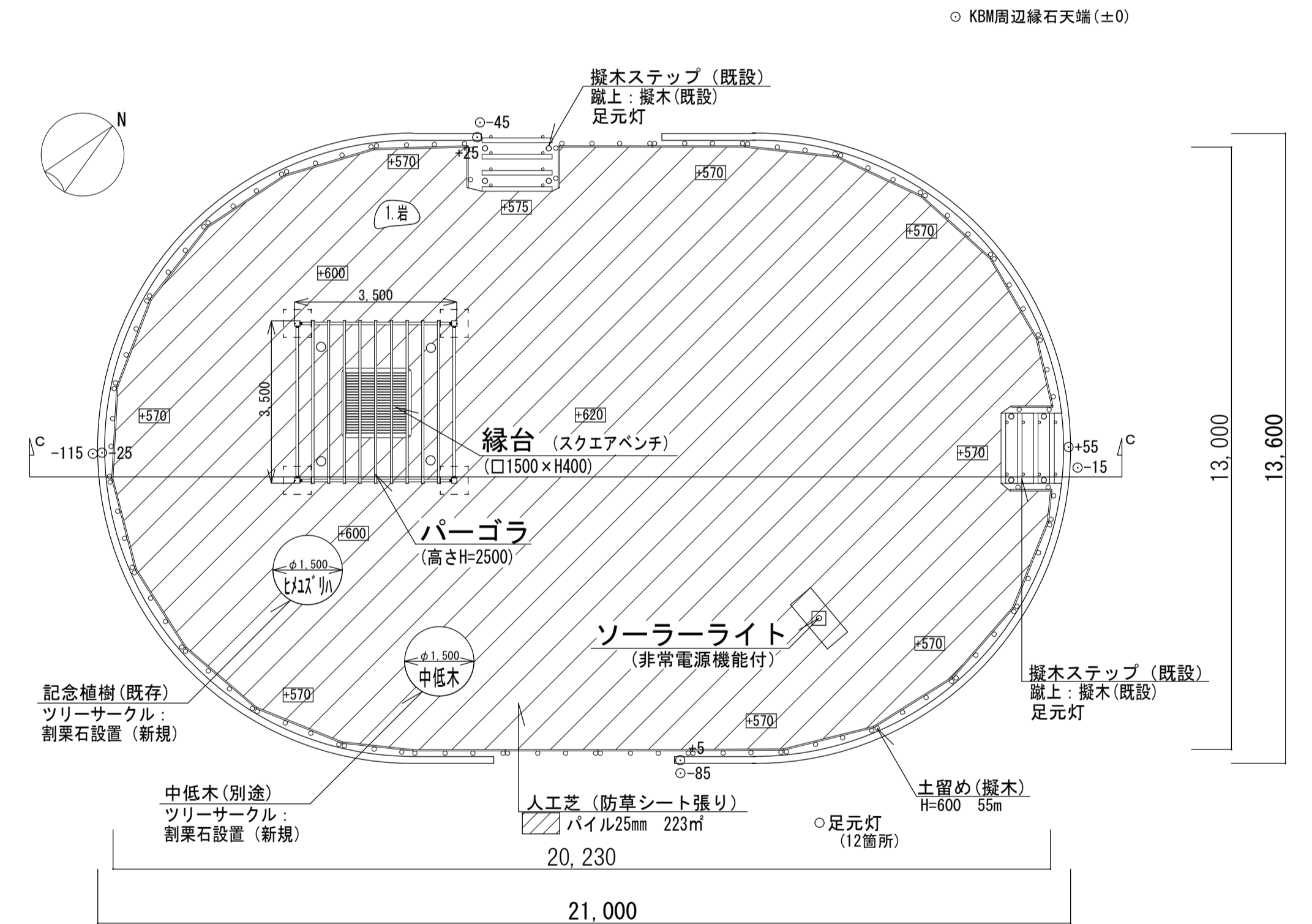
改修前 A-A断面図 S=1/50



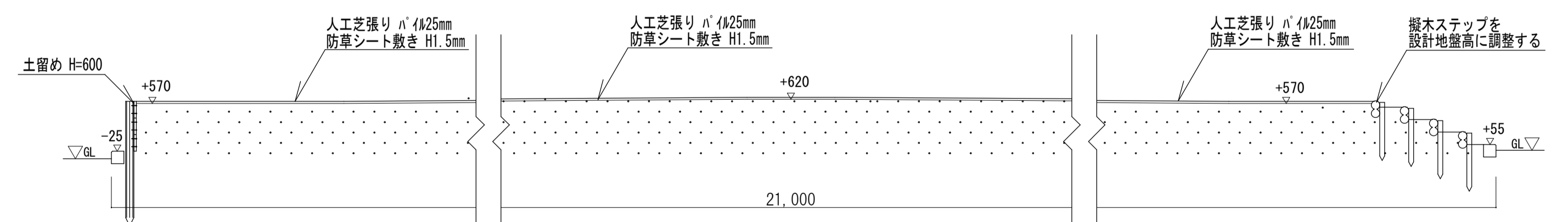
改修前 B-B断面図 S=1/50



部分配置図 S=1/400



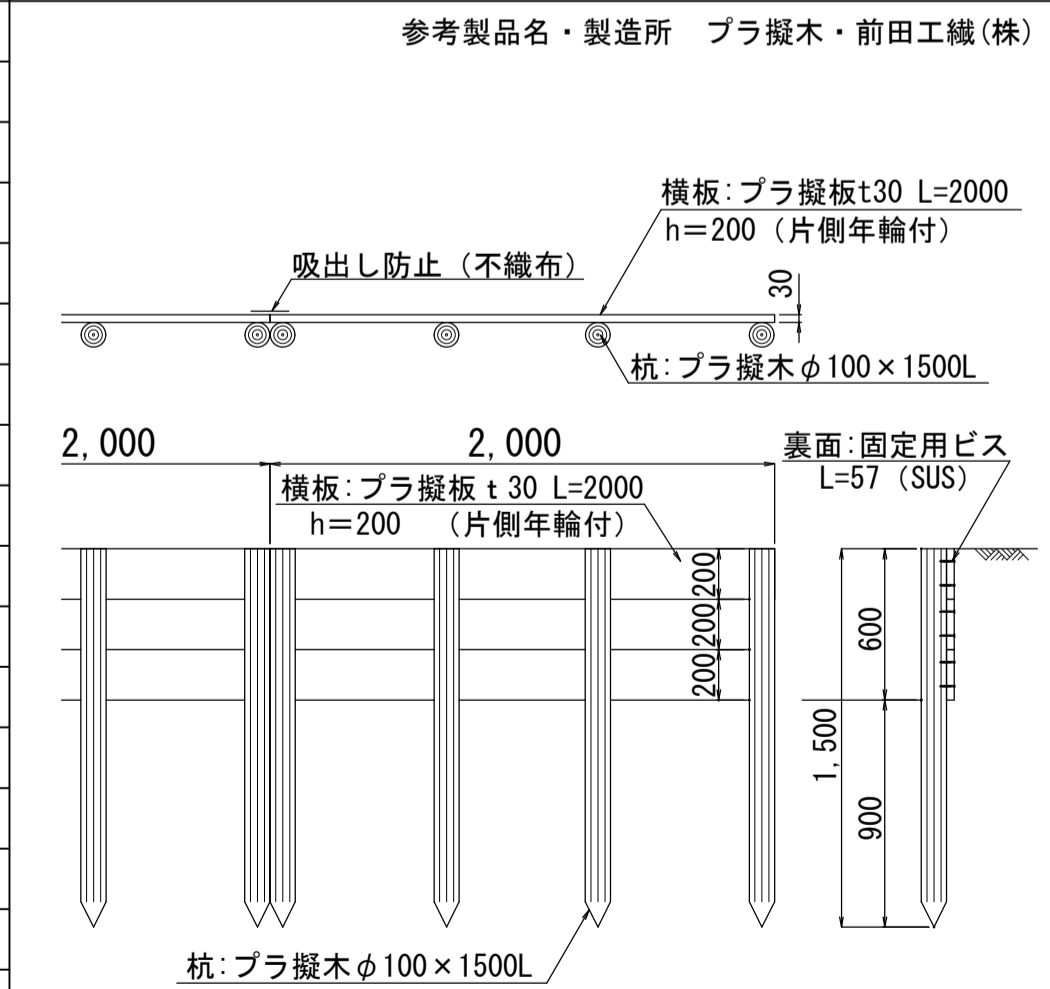
改修後築山平面図 S=1/100



改修後 C-C断面図 S=1/50

記号	規格等	改修内容
a.キンモクセイ	W2600, H4000 1本	伐採、抜根処分
b.キンモクセイ	W3200, H4000 1本	伐採、抜根処分
ツバキ	W2700, H2800 1本	伐採、抜根処分
ユキヤナギ	W1900, H1900 1株	伐採、抜根処分
ヒメユズリハ	W500, H1900 1本	一次撤去の上、地盤を設計高さに調整後再植樹
サツキ	W1200, H1200 16株	伐採、抜根処分
1.岩	980×600×H400 (地盤面からの高さ)	一次撤去の上、地盤を設計高さに調整後再設置
2.岩	1180×550×H250 (地盤面からの高さ)	撤去処分
3.岩	1300×750×H670 (地盤面からの高さ)	撤去処分
4.岩	1200×600×H1200 (地盤面からの高さ)	撤去処分
パーゴラ	図面番号C-3による	1箇所新設
緑台	図面番号C-3による	1箇所新設
ソーラーライト	図面番号C-3による	1箇所新設

土留め詳細図 (参考図) A1: S=1/30 A3: S=1/60



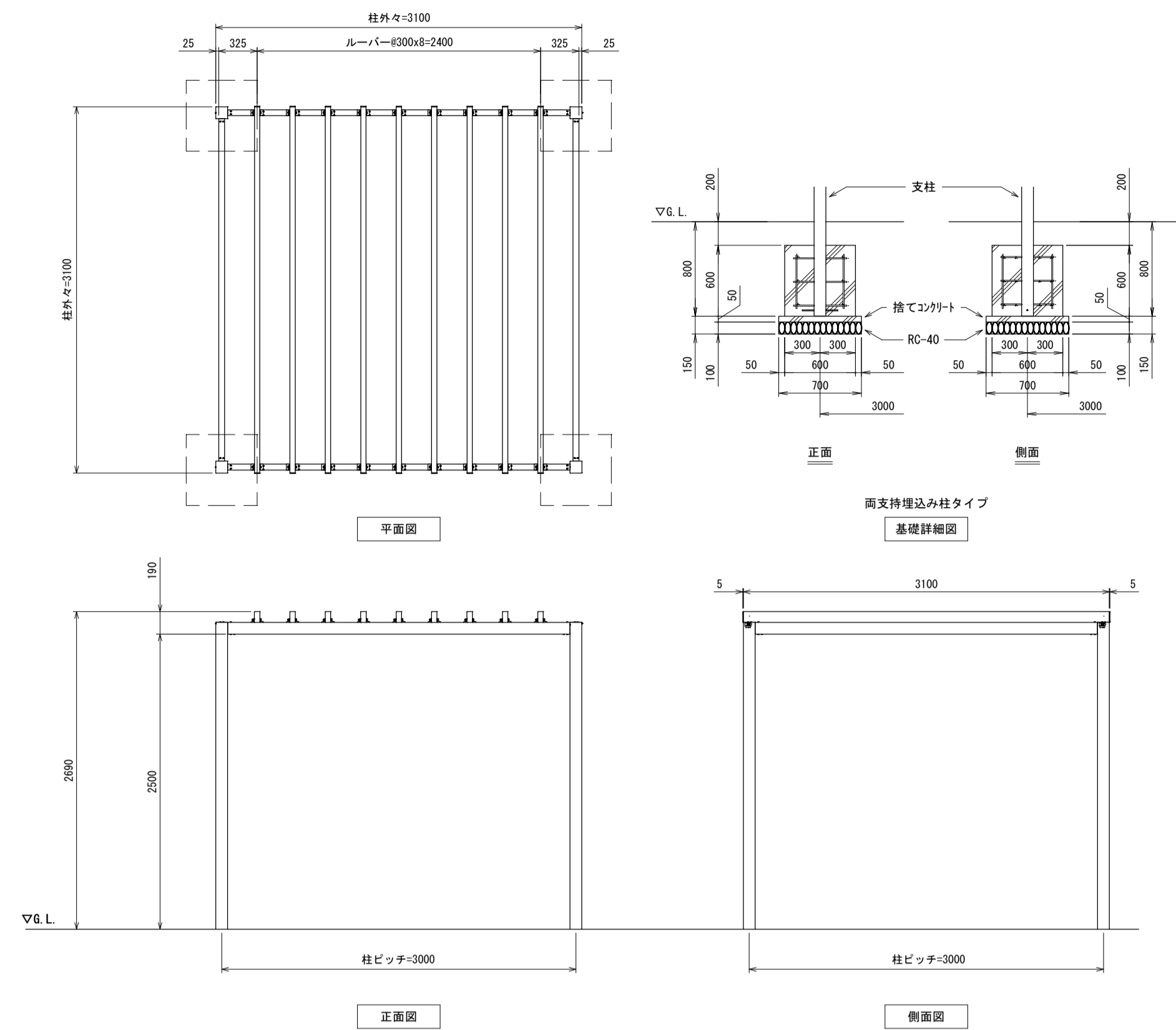
既設擬木ステップは、設計地盤高にに合わせて、撤去及び高さ調整をすること。基本撤上げ高さは、H=150程度とする。  
 既設擬木ステップ踏面及びパーゴラ下に足元灯 (参考: 自動点灯、埋込み式、φ115程度) 各4個設置すること。  
 記念植樹 (撤去復旧) 及び将来用に割栗石によるツリーサークル (φ1500程度) を設置すること。  
 土留めの設置により築山全体の地盤高を同等とするが、改修後の設計高さは、地盤高とする。  
 地盤高さ調整後、防草シート (ピン、ワッシャー及び防草テープ) 張りの上、人工芝 (パイル長さ25mm程度) 張りを行うこと。  
 人工芝 メインパイル: 耐候性ポリエチレン 防草シート ポリエステル製 【参考製造所: ミヅシマ工業(株)】

年度	設計年月	工事名称	図面名称	縮尺	独立行政法人 国立高等専門学校機構 鈴鹿工業高等専門学校	図面番号
令和6	令和6年9月	鈴鹿工業高専アニバーサリーガーデン築造工事	部分配置図・詳細図	A1: 1/50, 1/100, 1/400 A3: 1/100, 1/200, 1/800	事務部長 総務課長 係長 担当	C-2

パーゴラ詳細図

A1 : S=1/40  
A3 : S=1/80

参考品番 : LS-PA-501K (前田工織)



主要部材・部品名	材質・仕様
① 支柱	100×100×t3.0 アルミ押出形材
② 間口梁	100×50×t2.5 A6063S-T5 JIS H 4100
③ 奥行梁	100×50×t2.5
④ ルーバー	90×45 Kankyo-wood II MKV10 合成木材 アルミ芯材入り アルミ押出形材
接続金具	SS400 JIS G 3192 焼付け塗装 SPHC+電気亜鉛めっき 焼付け塗装
端部キャップ	ステンレス JIS G 4305 焼付け塗装
ボルト、ナット、座金	ステンレス JIS B 1180・1181・1251・1256
ネジ	ステンレス JIS B 1111・1122
ステンレスプレート	SS400+112 JIS G 3101 溶融亜鉛めっき
アンカーボルト	SS400+115 B-1176-R0641 溶融亜鉛めっき

構造 : 支柱・間口梁・奥行梁 アルミニウム合金造  
ルーバー 合成木材 アルミ芯材入り  
設計風速 40m/sec 地表面粗度区分Ⅲとしております。  
設計積雪量 50cm 設計積雪荷重 1000N/m<sup>2</sup>  
積雪単位重量 20N/cm<sup>3</sup> 一般区域としております。  
設計基礎寸法は 長期地耐力30kN/m<sup>2</sup> 第二種地盤としております。  
本図は LS-PA-501K 両支持埋込み柱タイプ (合成木材ルーバー仕様) を示します。

<カラーラインナップ>

① 支柱	② ③ 梁	A : ブロンズ艶消し B : ステン艶消し
④ ルーバー		合成木材 BR色 (ブラウン)

<参考施工歩掛 1基当たり>

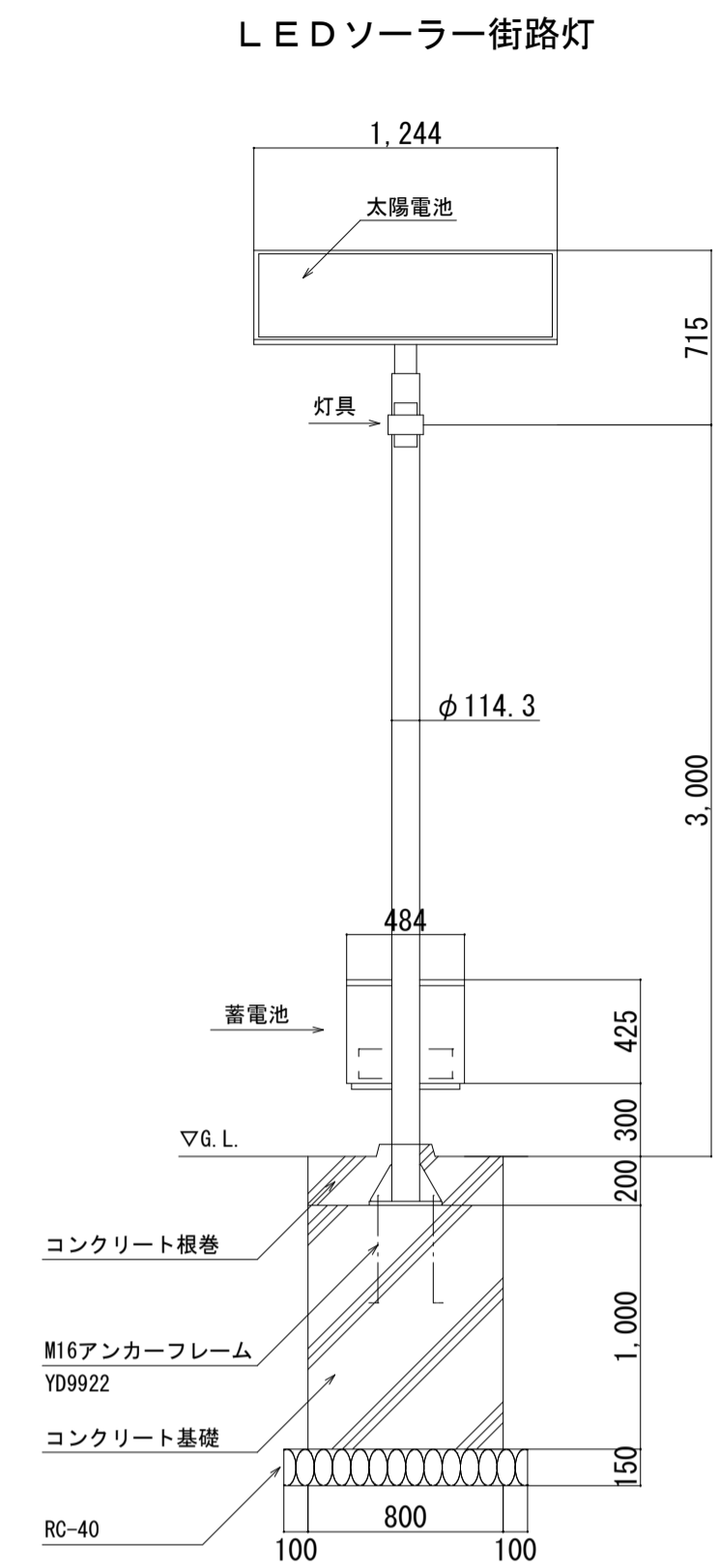
項目	単位	数量
床掘	m <sup>2</sup>	3.91
埋戻し	m <sup>3</sup>	2.75
残土処分	m <sup>3</sup>	1.17
砕石	m <sup>3</sup>	0.20
コンクリート	m <sup>3</sup>	0.84
捨てコンクリート	m <sup>2</sup>	0.10
型枠	m <sup>2</sup>	6.32
鉄筋 SD295 D10	m	4.7
普通作業員	人	3.00

※土工事・基礎工事は含まず。

ソーラーライト詳細図

A1 : S=1/30  
A3 : S=1/60

参考品番 : XYSL41AB41K (ハナリニック)

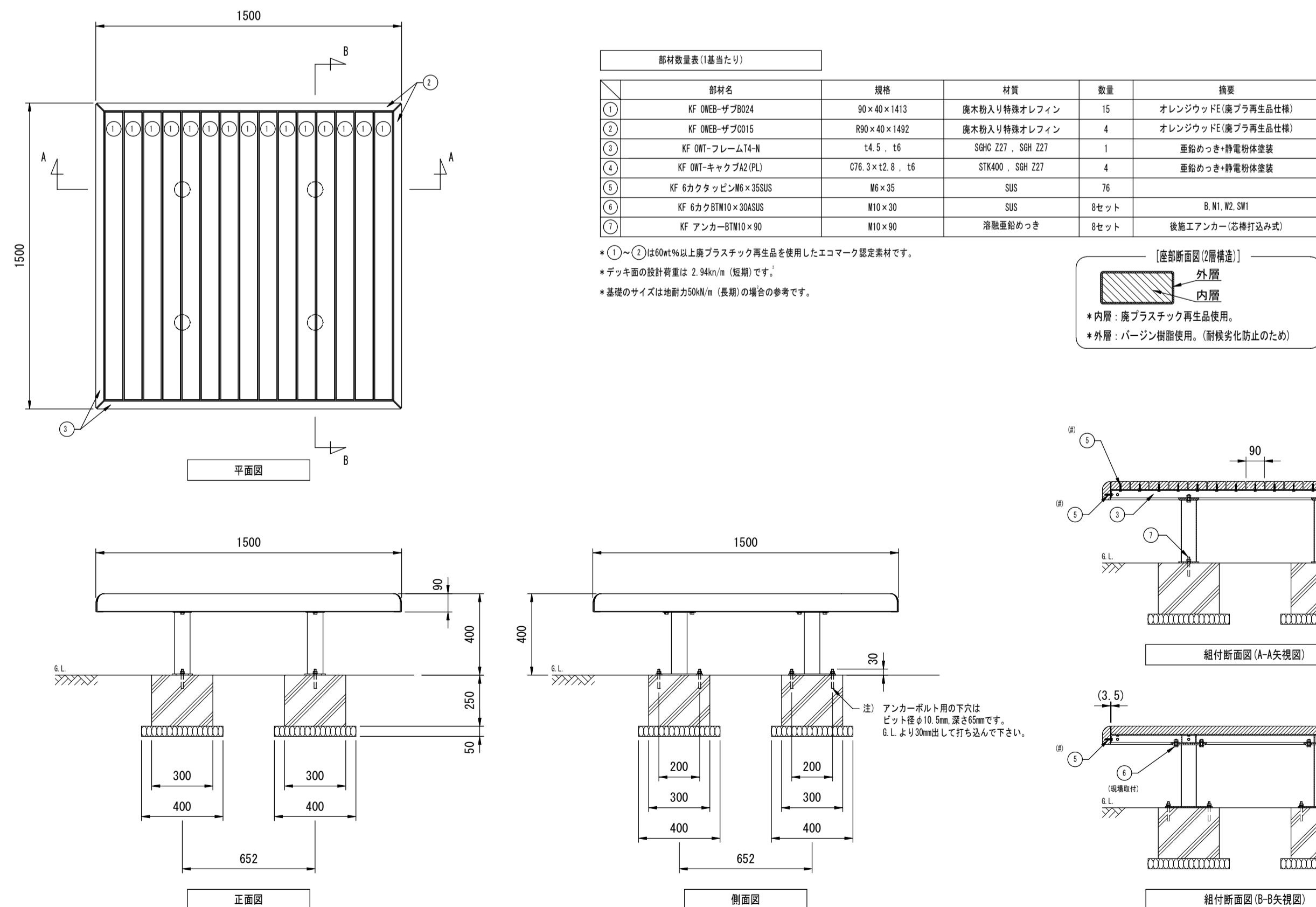


ソーラー街路灯  
公共施設型番 : LSA1-03  
非常電源機能付、光束785lm、消費電力6.4W  
昼白色、5000K、Ra70、ワイド配光、上方光束比0%  
光源寿命60000時間 (光束維持率70%)、防雨型、非常電源機能付、独立電源型  
灯具本体 : アルミ (ミディアムグレーメタリック)、灯具 : パネル : アクリル  
太陽電池パネル・蓄電池ボックス : 亜鉛鋼板 (ミディアムグレーメタリック)  
ポール : 鋼管 (溶融亜鉛メッキ後ミディアムグレーメタリック塗装)  
太陽電池パネル1枚タイプ、蓄電池容量 : 5日間点灯分、耐風速60m/s

縁台詳細図

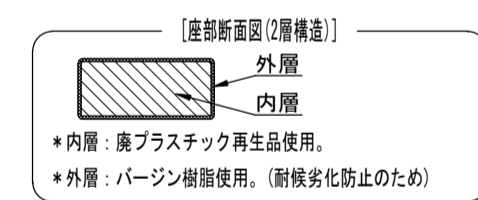
A1 : S=1/20  
A3 : S=1/40

参考品番 : KF-OWET-T4A2 (PL) (積水樹脂株式会社)



部材名	規格	材質	数量	備考
KF-ONE-ザブR024	90×40×1413	炭素鋼入り特殊オレフィン	15	オレンジウッドE (炭プラ再生品仕様)
KF-ONE-ザブD015	R90×40×1492	炭素鋼入り特殊オレフィン	4	オレンジウッドE (炭プラ再生品仕様)
KF-ONE-フレーム14-N	14.5・16	SPHC Z27・SBI Z27	1	亜鉛めっき・静電粉体塗装
KF-ONE-キャップA2 (PL)	G76.3×12.8・15	STK400・SBI Z27	4	亜鉛めっき・静電粉体塗装
KF-6カクツピン6×35SSUS	6×35	SUS	76	
KF-6カクツピン10×30ASUS	10×30	SUS	8セット	8.N1・A2・SBI
KF-アンカー-87W10×90	10×90	溶融亜鉛めっき	8セット	後施工アンカー (広挿付込み式)

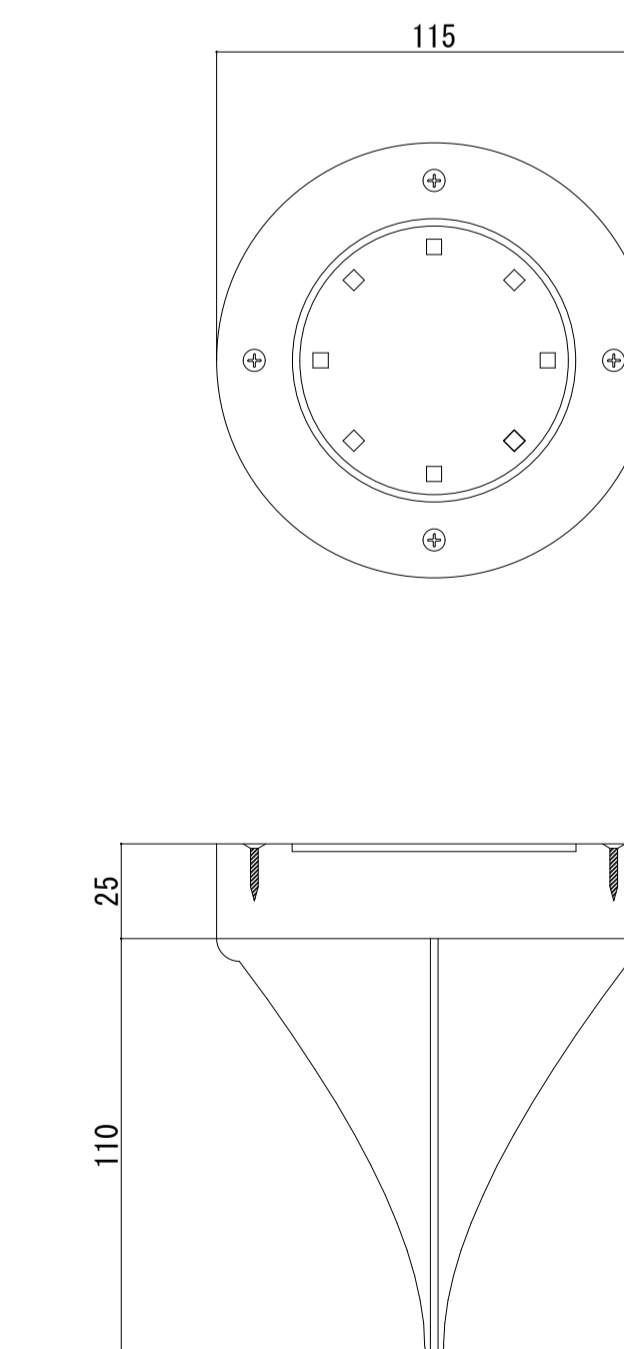
①-⑧は60mm以上炭プラ再生品を使用したエコマーク認定素材です。  
\* チェッキ面の設計荷重は 2.94kN/m (短期) です。  
\* 基礎のサイズは地耐力50kN/m<sup>2</sup> (長期) の場合の参考です。



足元灯詳細図

A1 : S=1/2  
A3 : S=1/4

参考品番 : KL-10377 (キシマ)



ソーラーグラウンドライト  
サイズ : 115φ・H25 (地中杭のみH110)  
素材 : ポリカーボネート・ポリプロピレン・ステンレススチール  
使用環境 : 屋外  
光束 : 約 15 lm  
LED数 : 8 LED色 : 電球色  
防水等級 : IP65

[電池の仕様]  
容量 : 1.2V 600mAh×1付  
種類 : ニッケル水素充電池 単3形

年度	設計年月	工事名称	図面名称	縮尺	独立行政法人 国立高等専門学校機構 鈴鹿工業高等専門学校	図面番号
令和6	令和6年9月	鈴鹿工業高専アニバーサリーガーデン築造工事	部分詳細図	A1 : 図示 A3 : 図示	事務部長 総務課長 係長 担当 [印] [印] [印] [印]	C-3